



2022年6月24日

ご投資家の皆様へ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 顧客本位の業務運営に関する評価指標（KPI）

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、金融庁が2017年3月30日に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」に掲げる7原則について、その全てを2017年6月28日付で採択致しました。

上記に伴い、下記記載項目を「お客様本位の業務運営に関する取組方針」に対する評価指標（KPI）として定め、定期的な公表を行ってまいります。

なお、スパークス・アセット・マネジメント株式会社では、金融庁が「顧客本位の業務運営に関する原則」を2021年1月15日に改定したことに伴い「お客様本位の業務運営に関する取組方針」の見直しを図り、2021年9月13日に公表いたしました。

### 1. お客様の最善の利益の追求

スパークスは、最終投資家の取りうるリスクを考慮しつつ、手数料等を差し引いた上で、長期的に良質なリターンの最大化を追求します。そのために、以下に取り組んでまいります。

- 魅力ある投資を常に考えます。
- プロフェッショナルとしての見識と良心をもって誠実に投資に取り組みます。お客様のニーズを考慮しつつも、最善の投資とは何かを常に考え、お客様の長期的な利益を損なうような投資は行いません。
- 良いビジネスに対して、魅力的な価格で投資するために、託していただいたお客様に代わって、投資対象について徹底的に調べることにより、投資リスクのコントロールを図り、高いリターンを追求します。
- マネジメントとの有意な対話を通じるなどをして適切に働きかけていくことで、投資対象の価値向上に貢献していきます。
- 組織体制や市場環境を考慮し、投資戦略ごとに最適な運用残高の管理を行います。最適な運用残高をコントロールするために、募集を中止する等の措置を講ずることもあります。
- ファンドサイズが小さくなり、経費率が高くなったファンドがあれば、販売会社と密接に連携し、併合や償還を視野に入れた取り組みを行いません。

（顧客本位の業務運営に関する原則 原則2および（注））

### 評価指標（KPI）

#### 1-1. 運用調査部門の年間調査件数

2021年度における運用調査部門の調査件数は3,063回（運用調査部門1人あたり約146件）です。

#### 1-2. パフォーマンス数値

2022年3月31日現在の弊社公募投資信託（国内籍）における運用成績は以下の通りです。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

ご参考資料



ファンド名	設定来リターン (%)	3年リターン (年率/%)	3年リスク (年率/%)	5年リターン (年率/%)	5年リスク (年率/%)	10年リターン (年率/%)	10年リスク (年率/%)	純資産額 (億円)	信託報酬 (%/税抜)	設定年月日
スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称: 厳選投資)	393.4	9.4	17.4	11.8	16.7	17.6	16.1	1,359	1.64	2008/03/28
スパークス・厳選投資ファンド (野村SMA・E・W向け)	56.2	9.1	16.4	-	-	-	-	719	0.81	2017/08/25
スパークス・ベスト・ピック・ファンド (ヘッジ型)	4.7	-1.1	7.7	-	-	-	-	160	1.53	2018/05/01
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド (愛称: 価値発掘)	134.3	12.0	19.9	11.7	18.8	-	-	127	1.74	2015/09/30
スパークス・M & S・ジャパン・ファンド (愛称: 華咲(中小型))	236.1	8.0	16.8	9.9	16.2	17.8	17.7	71	1.87	2007/01/31
スパークス・厳選株ファンド・ヘッジ型 (ダイウ投資一任専用)	6.7	-0.5	7.4	-	-	-	-	69	1.13	2018/04/17
スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド (愛称: ライジング・サン)	499.5	7.5	18.6	9.7	17.2	15.8	18.1	41	1.70	2000/10/19
スパークス・ジャパン・オープン (愛称: キョウソウの架け橋)	253.2	14.6	16.7	12.4	15.7	16.0	15.9	25	1.38	2004/05/20
スパークス・厳選投資ファンド (確定拠出年金向け)	21.3	-	-	-	-	-	-	25	0.98	2020/05/28
スパークス・日本株式ファンド (ラップ向け)	101.3	15.4	16.7	13.3	15.7	-	-	23	0.84	2016/09/23
スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド (愛称: ベスト・アルファ)	176.9	6.3	8.9	6.4	8.0	7.3	8.1	20	1.80	2002/03/11
スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド (愛称: 日本アジア厳選投資)	19.8	5.4	16.2	-	-	-	-	19	1.84	2018/10/31
スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型) (*)	71.3	9.6	18.7	6.5	16.6	8.9	15.9	19	0.86	2007/11/30
スパークス・アクティブ・ジャパン (愛称: キョウソウのバトン)	218.6	14.2	16.9	12.2	15.9	15.9	16.0	17	1.38	2004/04/27
スパークス・ベスト・ピック・ファンドII (日本・アジア) マーケットヘッジあり (*)	12.2	-	-	-	-	-	-	14	0.88	2019/10/15
スパークス・日本株式スチュワードシップ・ファンド (愛称: 対話の力)	77.6	10.9	16.3	8.6	16.1	-	-	14	1.70	2014/12/02
スパークス・ベスト・ピック・ファンドII (日本・アジア) マーケットヘッジなし (*)	30.1	-	-	-	-	-	-	7	0.88	2019/10/15
スパークス・新・国際優良アジア株ファンド (愛称: アジア厳選投資)	31.8	10.0	20.5	-	-	-	-	6	1.75	2017/05/26
スパークス・韓国株ファンド (愛称: 韓国厳選投資)	51.2	17.3	25.8	-	-	-	-	5	1.64	2018/12/21
スパークス・少数精鋭・日本株ファンド	160.8	11.6	17.4	12.1	17.4	-	-	5	1.85	2013/08/30
スパークス・日本株・L & S	188.5	6.7	9.2	7.2	8.2	7.7	8.2	5	1.80	2003/02/14
スパークス・日本中小型株式ファンド (ラップ向け)	98.3	8.9	16.8	10.9	16.2	-	-	5	0.94	2016/09/23
スパークス・アジア中東株式ファンド (資産成長型) (*)	235.8	8.9	17.5	6.1	15.4	8.1	14.6	0	0.86	2008/11/12
スパークス・日本アジア厳選株ファンド・ヘッジ型 (ダイウ投資一任専用) (*)	-13.0	-	-	-	-	-	-	0	0.48	2021/10/06

※ 年率リターンは計算期間における年率 (1年換算) の収益率、年率リスクは計算期間における年率リターン (1年換算) の変動度合いを示しています。

※ 決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金 (税金控除前) を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

※ (\*) のファンドは信託報酬のほか、投資対象とする外国投資信託における運用報酬などの費用がかかります。

※ 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

出所: スパークス・アセット・マネジメント、Fundmark

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



### 1-3. レーティング

スパークス・アセット・マネジメントは、株式会社野村総合研究所が当社の投資信託に付与しているレーティングを評価指標（KPI）として継続公表します。レーティングはリスク調整後リターンをもとに、各カテゴリ別に順位が付与されます。カテゴリ毎に対象ファンドが異なるため、順位を比較するためにパーセンタイル値（同一カテゴリ内の順位を最高が1、最低が100に換算し直したもの）を求め、その値をもとにレーティングが付与されます。レーティングは以下の条件を満たす投資信託が評価対象となります。

- ・運用実績が3年以上存在
- ・過去3年の平均純資産総額が10億円以上かつ評価最終月末の純資産総額が10億円以上
- ・評価対象の投資信託は、評価期間中の平均純資産総額が10億円以上、かつ評価最終月末の純資産総額が8億円以上であれば対象を継続する
- ・上記の条件を満たす投資信託が10本以上存在するカテゴリ（小分類を為替分類で細分化した分類）に属する

2022年3月31日現在の弊社公募投資信託（国内籍）における、レーティングが5（☆☆☆☆）の投資信託は10本中2本（運用残高比率は2.0%、除くレーティング無し）、純資産総額による加重平均レーティングは2.24（除くレーティング無し）です。

レーティング	パーセンタイル値	本数	運用残高比率
☆☆☆☆☆	上位10%	2	2.0%
☆☆☆☆	10~33%	2	6.0%
☆☆☆	34~67%	4	6.0%
☆☆	68~90%	2	86.1%
☆	下位10%	0	0.0%
合計		10	100.0%

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 2. 利益相反の適切な管理

スパークスは独立系運用会社である強みを活かし、高度のガバナンス態勢を構築し、その維持につとめております。利益相反管理方針を定め、利益相反を適切に管理し、利益相反取引によってお客様の利益が損なわれることがないようにしています。

スパークスは、インベストメント・カンパニーとして新しい投資分野をこれからも積極的に開拓してまいります。新しい投資の形を生み出す際に、新たなタイプの利益相反が発生することが想定されますが、その都度、お客様の最善の利益を優先し、利益相反管理方針についても適宜見直してまいります。（顧客本位の業務運営に関する原則 原則3および（注））

### 評価指標（KPI）

#### 2-1. 利益相反管理方針

スパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」と言います）は、当社または当社のグループ会社とお客様との間、並びに、当社のお客様相互間の利益相反のおそれのある取引に関し、法令等及び利益相反管理方針に従い、お客様の利益を不当に害することのないよう適性に業務を遂行致します。当社は、法令等に従い、当社の利益相反管理方針の概要を以下のリンク先で公表しております。

<https://www.sparx.co.jp/profit.html>

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



### 3. 報酬・費用の考え方

スパークスは、お客様にご資金を託していただくに足りる、納得いただける報酬水準を設定します。スパークスは、お客様に、報酬や手数料等費用控除後のネットベースでの長期的に良質で高いリターンを提供することを目指しています。その中でお客様にご負担いただく報酬や手数料について、わかりやすく開示してまいります。

(顧客本位の業務運営に関する原則 原則4)

#### 評価指標 (KPI)

##### 3-1. ネット・リターン (分配金再投資基準価額ベース)

スパークス・アセット・マネジメントでは報酬や手数料等費用控除後のネットベースでの長期的に良質で高いリターンをご提供するため、弊社公募投資信託（国内籍）においては分配金再投資基準価額ベースのリターンおよび信託報酬を評価指標 (KPI) として公表致します。当該数値については、上記1-2をご参照ください。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



#### 4. お客様にとって必要な情報のわかりやすい提供

スパークスは、お客様向けのレポートや当社ウェブサイト、SPARX TV への掲載等を通じ、スパークスの活動や考え方をわかりやすく、的確にお客様に提供するよう努めます。

(顧客本位の業務運営に関する原則 原則 5 および (注))

※当社は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等を行いませんので、「顧客本位の業務運営に関する原則 5 重要な情報の分かりやすい提供」の(注 2)は該当致しません。

#### 評価指標 (KPI)

##### 4-1. お客様向けコンテンツ提供実績

スパークス・アセット・マネジメントが実施致しました、2021年度のお客様向けコンテンツ提供実績は以下の通りです。

項目	回数
フェイスブック (投稿数)	25回
SPARX-TV (配信数)	8回
SPARX-TV (視聴回数)	4,044回
SPARX公式YouTubeチャンネル (配信数)	38回
SPARX公式YouTubeチャンネル (視聴回数)	4,398回
IRニュースレター (配信数)	71回
レポート (配信数)	4回
レポート (閲覧数)	5,286回
スパークス公式note (投稿数)	38回
スパークス公式Twitter (投稿数)	82回

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。





## 5. お客様にふさわしい金融商品の組成

スパークスは、お客様の属性やニーズを把握し、本当にお客様の資産形成に資すると考える商品をご案内するよう徹底してまいります。

スパークスの投資は、徹底した現場調査を基とする長期投資を原則としております。従いまして、スパークスの投資に合致する属性とニーズを持つお客様とは、長期的な資産形成を目指して金融商品を保有できるお客様（「投資家」）です。

この考え方を、今後とも愚直に販売会社にも伝え、お客様に共有していただけるよう取組みたいと考えています。

（顧客本位の業務運営に関する原則 原則6 および（注））

※当社は、基本的には個人投資家の皆様へのアクセスを販売会社に委ねており、原則として個人投資家の皆様への直接の金融商品の販売・推奨等を行いませんので、「顧客本位の業務運営に関する原則6 顧客にふさわしいサービスの提供」の（注1）は該当致しません。

※当社は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等を行いませんので、「顧客本位の業務運営に関する原則6 顧客にふさわしいサービスの提供」の（注2）は該当致しません。

※当社は、複雑又はリスクの高い金融商品の販売・推奨等を行っておりません。また、当社は、基本的には個人投資家の皆様へのアクセスを販売会社に委ねており、原則として個人投資家の皆様への直接の金融商品の販売・推奨等を行いませんので、「顧客本位の業務運営に関する原則6 顧客にふさわしいサービスの提供」の（注4）は該当致しません。

### 評価指標（KPI）

#### 5-1. 投資信託の純資産総額・商品数

2022年3月31日現在の弊社公募投資信託（国内籍）における純資産総額合計は約2,756億円、平均は約115億円、商品数は24本です。

#### 5-2. 投資信託の運用年数

2022年3月31日現在の弊社公募投資信託（国内籍）における平均運用年数は、単純平均が約9.1年、純資産総額による加重平均が約10.2年です。

#### 5-3. 投資信託残高に対する分配型ファンドの本数・構成比

2022年3月31日現在の弊社公募投資信託（国内籍）における分配型ファンドの本数は、年1回決算のファンドが18本、運用残高比率は約85.6%です。

決算頻度	本数	運用残高比率
1回	18	85.6%
2回	5	13.7%
6回	1	0.7%

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 6. 取組方針の定着のために

スパークスは、研修・教育等を経営の根幹に据えております。誠実な高い意識を持つプロフェッショナルを育て、本方針を実践することの意義を共有し、本方針への理解を深めることで、全役職員がお客様本位の業務運営を果たすために必要な意識を醸成します。

役職員の業績評価の際に、本方針の実践を評価項目とし、明確なコミットメントを求めるとともに、信賞必罰で臨み、お客様本位の業務運営の遂行を求めます。

スパークスの本方針の実施状況は、部門より定期的に取り締役に報告を行います。

(顧客本位の業務運営に関する原則 原則7および(注))

### 評価指標 (KPI)

#### 6-1. 顧客本位の業務運営の浸透・定着に向けた体制整備

スパークス・アセット・マネジメント株式会社では2021年6月に「顧客本位の業務運営に関する評価指標 (KPI)」の見直しを行い、2021年6月21日の取締役会において採択いたしました。

また、2021年9月には「お客様本位の業務運営に関する取組方針」の見直しを図り、2021年9月13日に改訂版の公表を行いました。

#### 6-2. 研修・教育等の実施状況

2021年度の研修・教育等の実施状況は以下の通りです。

研修名	対象者	実施月	分類
入社時コンプライアンス研修	全新入社員	入社の都度 (入社日)	社内研修
金融商品取引業者における AML/CFT	全役員	2021年7月	外部研修
AML/CFTに係る取引時確認 方法及び実質的支配者確認等 について	関係部署役職員	2021年11月	社内研修
インサイダー研修	全役職員	2021年12月	外部研修

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。





(参考情報①)

スパークス・アセット・マネジメント株式会社またはスパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社がそれぞれ運用する再生可能エネルギーファンドを通じて投資している発電所について、この発電所を運営管理するスパークス・グリーンエナジー&テクノロジー株式会社の指標を参考情報として公表致します。

2021年度の発電量累計：578,047,426kwh

※1世帯の年間消費電力を3,000kwhと仮定すると192,682世帯分/年に相当

再エネ発電による2021年度のCO2削減量：261,855t/年

(1kwhの発電する際に排出されるCO2量を453gと仮定)

CO2削減量をスギの吸収量に換算：18,703,963本分/年

※スギ1本が吸収する年間CO2量を14kgと仮定

(参考情報②)

スパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用する「未来創生ファンド」では、最新の技術、ビジネスモデルを有する国内外の未公開ベンチャー企業・プロジェクトに対する投資と、投資先企業・プロジェクトの価値向上支援を行っております。参考情報として「未来創生ファンド」の指標を公表致します。

スタートアップ企業の累計調査社数：1,449社(2022年3月末現在)

スタートアップ企業とLP投資家のマッチング回数：1,213回(2021年1月～2022年12月)

投資先スタートアップ企業における取締役会関与比率：88.2%(2022年2月末時点)

ファンドの運用資産と運用年数：未来創生1号ファンド：367億円 (2015年11月運用開始)

未来創生2号ファンド：726億円 (2018年10月運用開始)

未来創生3号ファンド：515億円 (2021年12月運用開始)

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



### 投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第 37 条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々の投資信託に適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なるため、費用の料率はスパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定の投資信託の取得をご希望の場合には、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断で行っていただくようお願いいたします。

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等（外貨建て資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

特化型のファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 投資信託に係る費用について

当社における公募投資信託（国内籍）に係る費用（料率）の上限は以下のとおりです。

### ●直接ご負担いただく費用

購入時手数料	上限 3.85%（税込）
換金手数料	なし
信託財産留保額	上限 0.5%

### ●投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 上限 2.057%（税込）

実績報酬（※） 投資信託により、実績報酬がかかる場合があります。

※実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他の費用・手数料（※） 監査費用、目論見書や運用報告書等の作成費用など諸費用等ならびに組入有価証券（ファンドを含む）の売買の際に発生する売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建て資産の保管費用等を信託財産でご負担いただきます。組入有価証券がファンドの場合には、上記の他に受託会社報酬、保管会社報酬などの費用がかかる場合があります。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※投資信託により異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。

### <委託会社>

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



■ Fundmark レーティングについて

Fundmark レーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmark レーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmark レーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmark レーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmark レーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

■ 本件に関するお問合せ先

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ビジネス・デベロップメント本部 リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話番号：03-6711-9170

受付時間：9:00～17:00（12/31～1/3・土日祝日・振替休日を除く）

以上

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。